石造文化財 調査事業報告会

第 734 号
発行人●豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人●長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265－35－9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
（4月1日現在 ※外国人を含む）

男	3，323人
女	3，332人
総人口	6，655人
世帯数	2，229戸

2年間にわたった調査の集大成
村内に眠っていた石造文化財

石造文化財調査事業
実行委員長
片桐 林三

令和二年度から二年間にわたり実施してきました石造文化財調査事業が、終了しました。

江戸時代中頃から民間信仰の対象とされてきた石造文化財を記録に留めようと、調査を行ってきたものです。三月二十三日に当調査事業の完了報告会が開催され、事業報告と、調査の指導監修を担当された酒井幸則氏による講演がありました。

令和二年度から令和三年度の二年間にわたって実施してまいりました石造文化財調査事業は、三月二十三日の事業報告会と酒井幸則氏による講演会をもって終了しました。

豊丘村にはたくさんの石仏（石造文化財）があります。路傍にたたずむ数多の石仏は、先人の祈りが現在に残るタイムカプセルです。しかしそれは長い時間の経過により自然に風化されたり、土地開発や盗難などにより破壊されたり消滅させられたりする恐れがあるものです。

そこで現存する石仏を悉皆調査し、その文化的価値を認識・評価する資料を作成して、先人の思いを後世に残すことを目的として石造文化財調査事業がスタートいたしました。

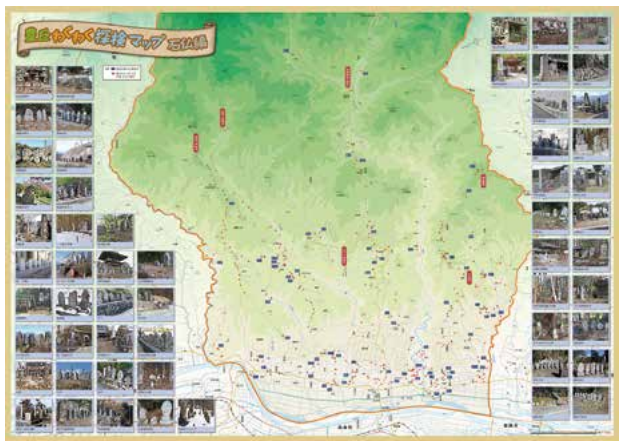
令和二年四月に事業の推進役であるマネージメントチームが発足、八月には二十名の調査員が決定して調査をスタートしました。

調査方法としては、調査員が担当区域内を足で歩いて、点在する石仏個々の位置と種類を確認し、一件ごとに調査野帳を作成し実測図やスケッチを書き込む。またスマートフォンにて写真撮影をして正確な位置をデーターベースへ送るというものです。

作成した資料はすべてデーターベース化し後世へと残します。またあわせて全石仏の位置と代表的な石仏の写真を掲載したマップを作製して、村内各戸に配布いたします。

石造文化財調査事業は、無事データーベースの完成と、マップの作製をもって終了いたしますが、ひとえに調査員の皆さんの地道で丁寧な調査活動なくしてはあり得なかったと思います。また合わせて有意義な情報を提供していただいた方々や調査活動に御協力いただいた村内皆様のおかげでもあります。

感謝申し上げます。



公民館学習会 年度最終回
3月9日

三月九日に公民館学習会が開催されました。今回開催の学習会、健康運動指導士牧内隆雄先生の「身体のお手入れ」と劇団ふたりゾラのお楽しみ会は当初、令和二年三月に開催の予定でした。二年前の二月は新型コロナウイルス感染者が県下でも確認され始め、新たな感染症に緊張感が走っており、当たり前だった日常生活が止まった様でした。

年が明けてすぐ、これまでにない急激なコロナウイルス感染が広がり、一月、二月の公民館学習会は中止となりました。

三年度最後の学習会開催について、県下のまん延防止等重点措置期間が終了となることから開催を決めました。

当日は、四十一名のみなさんの出席がありました。牧内先生の講座では、疲れや歪みを正すツボを教わり、体のケアの大切さを楽しく笑いも添えてお話ししていただき、簡単な体操も行いました。

第二部、ふたりゾラの公演では、マスクの中でそっと笑って楽しい時間を過ごしました。豊丘村ではお馴染みの「ふたりゾラ」ですが、私は方言の「ずら」だと思っておりましたが、カツラの「ゾラ」ということを初めて知りました。衣装はもちろん三十個のカツラを駆使し、保育園から敬老会まで幅広く活躍されているお二人です。

コロナ、コロナと言われ続けておりますが、令和二年八月にしばらく中止にしておりました学習会が再開されました。その時いかに人が集うことが大切かを思い知らされました。会場でも「しばらくぶりだったなぁ」「元気だったかな」の声が飛び交いました。コロナウイルス感染症の終息がまだ見えないからこそ、これからもできる形で事業を進めていくことが大切と感じております。人が集ってこその公民館。令和四年度も皆さまに集まっていただけるよう学習会を計画しました。皆さまのお越しをお待ちしております。

（前公民館主事　松村佐織）

段丘

百円ショップが面白い。何か欲しい物があるとまず百円ショップで探し、そこで無い場合に専門店へ行くという手順だ。それで多くの場合は見つかる。さらに特に欲しい物が無くても、ぶらりと立ち寄ることもあり、眺めているだけで楽しくなる。こんな物がよくも百円でできるなと感心してしまうことがよくある。また工夫に満ちた品物を見つけると感動すら覚える。以前はデザインにせよ品質にせよやはり百円だから仕方無いとの受け止めであったが最近はそういうことは少ない。初期の頃は、安物買いの銭失いと言われたらしい。ダイソーではそれに発憤して高品質で客が驚き、また喜んでもらいたいとの一心で商品開発に邁進したという。取り扱い総点数七万個の内、一ケ月に数百個は新製品が店頭に並ぶが、九十九％は自社開発品という。取引先は約六千五百社に及ぶ。見本を何回も作り苦労の末に商品化される。それを見極め決定するのは若い社員で、中には入社二年目の人もいる。この業態が軌道に乗るまでには大変な苦労があったという。当初は他社の大型店の一角（時には屋外でテントを張って）を借りて品物を並べた。いちいち原価を見極め、損益計算するのが面倒だからと全て百円に統一したのだ。原価をギリギリまで上げ品質を追求し、お客様第一主義を貫いたことが成功の秘密だろう。

（桐崎長一）

『目標８ 働きがいも経済成長も』
～ＳＤＧｓって何⑪～

公民館長　市澤和宏

●目標８　包摂的（ほうせつてき）かつ持続可能な経済成長、およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

わかりづらい表現です。〝包摂〟とは連載②でも触れたとおりですが広辞苑によると「ある概念がより一般的な概念に包括される従属関係」と記載されています。例えば哺乳類が脊椎動物に従属する関係なのだそうです。恥ずかしい話ですが私なりに排除の逆かな？と少しわかったつもりでいますが今だ腑に落ちていません。どなたかぜひ明快な答えをご教授いただければありがたいです。お願いいたします。

〝ディーセント・ワーク〟「働きがいのある人間らしい仕事」この考え方もなじみがないかもしれません。国際労働機関（ＩＬＯ）で一九九九年に提起されています。権利が保障され十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事で、すべての人が収入を得るに十分な仕事があること。まず仕事があること。その仕事には権利、社会保障、発言権があり自由と平等が保障され、働く人の生活が安定する。人間として尊厳を保てる生産的な仕事のこと。とても理想的な考えです。私が思うに、この条件の仕事に就いている人は世界中でもそうは多くないと思っています。

さてこの目標のターゲットは全部で十二。内、具体的な目標十。具体的な目標を達成するための方法二つです。

主な内容は、それぞれの国に応じて一人当たりの経済成長率を持続させる。とくに後発開発途上国は少なくとも七％の成長率を保つ。強制労働・児童兵士に代表される児童労働の根絶・禁止・撲滅、奴隷制、人身売買を終わらせる。女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者などすべての労働者の権利を保護し、安心安全な労働環境を促進する。金融機関の能力を強化し、すべての人々の金融取引、金融サービスへのアクセスの促進拡大を計る。などです。

ＳＤＧｓにふれお話しをされる方で、専門家の先生以外ではこの目標についてお話しされる方はほとんどおられません。お目にかかったことがありません。

エネルギー、環境問題などの身近に感じられるお話しはよく耳にするのですが…。なぜでしょう？皆さんと一緒に考えてみるのも「私たちのできること」と考えます。十七の目標の中に幾つかある取っ付きにくい目標の一つと感じています。一方世界の現状は、というと、後発開発途上国の実質ＧＤＰ成長率は二〇一九年四・八％、二〇二〇年はコロナ禍により〇・八％ほどに低下するとされ、現在はウクライナ問題で世界的にますます低下の予想です。七％はほど遠い数字と思われます。また世界の二〇一九年の失業率は五・四％でしたがこれも同じ影響で現在は悪化していると思われます。

そしてこれは男女格差が大きく、北アフリカ・西アジアなどの地域に顕著に表れており、加えて貧困地域と重なることにより、ますます悪化すると思われ、コロナウイルス、ウクライナ問題で予想を遙かに超えるのではないかと危惧されるところです。

改善するには、経済成長を支える消費や生産の資源効率が改善され、それが世界中に広がり、それぞれの国の成長に貢献できるようになれば、少しづつ変わって行けるのではないかと考えます。

この目標を満たすことの難しさ、ひいては語ることの難しさはご理解いただけたと思います。われわれ個人が自分自身の仕事の中で、働きがいを見つけだし、ひたすらに真摯に取り組むことが大切なのかもしれないと思います。社会のためになる自分の好きなことで生計を立てる仕事を見つけることができれば最高と思います。

この目標８に対して私たちにできることは何かを考えてみましょう。

①社会の仕組みについて今一度学習してみる。
②買った商品がどのようにして作られたのか考えてみる。
③エシカル（道徳的）なお店や企業を応援する。
④有給休暇はちゃんととる。

（参考文献『数字でわかる！こどもＳＤＧｓ』株式会社カンゼン『国谷祐子と考えるＳＤＧｓがわかる本』ぶんけい）

歌は世につれ～ 十六話
母の日に寄せて『おふくろさん』

上佐原　小池　光好

母は歌が好きだった。歌番組を見ながらよく一緒に口ずさんでいた。晩年車椅子生活となり、お世話になっていた特養「喬木荘」の家族会交流会等で合唱するときも、しっかり声を出して歌っていた。そんな母が好きだった歌手は「森進一」。お気に入りの歌は『おふくろさん』。

『おふくろさん』で思い起こされるのが、森進一と作詞した川内康範との騒動である。二〇〇六年のＮＨＫ紅白歌合戦で、「いつも心配かけてばかり　いけない息子の僕でした」云々と、オリジナルにない詞と曲をイントロの前に付け加え歌った。無許可で足されているとして、川内が二〇〇七年二月に著作権侵害で訴え、「もう森には歌ってもらいたくない」と反発した。♪お前もいつかは世の中の　傘になれよと教えてくれた♪♪お前もいつかは世の中に　愛をともせと教えてくれた♪『おふくろさん』は、世のため人のために強く生きよと人倫の道を説く聖人のような母の姿をうたっている。そんな母を敬いその〝教え〟を体現した「子」の歌であり、「今も心配かけたままの息子ですみません」などと言い訳を述べるふやけた息子を前奏に付け足したことに、川内は我慢がならなかったのではないかと言われている。川内曰く、「歌い手が情（こころ）を失ったら、その歌は死ぬんだ」。

思い返せば、私の母は真逆だった。人の道を諭したり人生を語ることもなく、ただただ「あいさつをしなさい」「素直に正直に」とだけ言い、黙々と働き背中で語ってきた。唱歌『かあさんの歌』のごとし。森が私情を盛り込んで歌ったのも森の母への想いがそうさせたのだろう。人それぞれの母親像が胸の内にある。

今の私があるのは母のおかげである。片親であったにもかかわらず異郷で就職した私に「帰って来い」「一緒に暮らしたい」とは一切言わず、私の思うようにさせてくれた。なにより、一人暮らしになっても長く元気でいてくれた。私の人生の礎となっていた。感謝の一言である。

田植えをする母と祖母

シリーズ「元気な高齢者」⑧⑧
穏やかさと実直さ 両面でなし得た達成感

伊藤日出美さん　八十九歳　地蔵道在住

昭和七年に高森出原の湯澤家で、七人きょうだいの末っ子（男四女三）として生まれた。十五歳離れていた長兄は八年間戦争に出征していたが無事に帰還した。三人の姉妹はみな豊丘へ嫁ぐなど四人が豊丘に縁があった。この五月で九十歳になる日出美さんを含め七人全員が九十歳以上という長寿であるが、現在で健在なのは男三人である。湯澤家は水田五反歩、畑一・五町歩を有していて、桑、麦、芋などを主に栽培していた。後に梨、リンゴ等に転換していった。父親は農協の組合長を務めるなどで昼間は家を留守し勝ちであったため、農事は必然的に残りの家族で対応していた。

日出美さんは新制中学の一期生であり、卒業後は当時花形職業であった紡績関係の仕事に就きたいと思い、関連の科があった岡谷の工業高校へ進学し寮生活を送った。しかし三男が、志願した海軍から復員し土木の専門学校へ入学したため、弟の日出美さんが退学し家に戻り農業高校に入り直し、卒業後は家業を手伝った。

やがて二十八歳の時大きな転機が訪れた。義兄の仲介で現在の伊藤家へ養子として入り、少し前に同じく養女となっていた四歳下の富士代さんと結婚した。伊藤家は酒の販売を主体とし、他に雑貨品を扱っていたが、商売の将来に対し限界を感じつつあった。農家で通常使用していたエンジン式農機具に加え、当時自動二輪車が流行り出した頃で、百Ｌ入りタンクで混合油の販売を始めた。小規模ながらも順調に進んだことで、経営の将来性に手応えを感じた。そして燃料販売のガソリンスタンド（ＧＳ）の経営に本格的に転換すべく家族と相談したが猛反対を受けた。しかしそれにひるまずに四十二年にＧＳ業を始めた。当時は豊丘村内にＧＳが四社あり競争は激しかったが、強引に始めた手前もあり、夫婦で必死に働いた。

子供は二人授かり長男に跡継ぎを期待したが、別の職業に就いたため叶わなかった。そんなこともあり四十年間続けたＧＳ経営を七十歳で止めた。その間危険物取り扱い上の気苦労、またパソコンは勿論、電卓さえも無い時代ゆえに算盤による諸計算（財務、請求書など）に関わる対応、掛け売りゆえの貸し倒れなど多くの苦労があった。加えて飯伊地区の危険物安全協会役員を十数年勤めた。一方で気の合う友二人が頻繁に事務所へ顔を出してくれ、世間話で気を紛らわせることができた。

公務として商工会理事を二十年、有線放送理事を九年、禁煙会幹事を十五年、他を勤め村の功労者表彰を受けたことは栄誉と思っている。

旅行はＧＳ経営当時を中心に海外は中国、韓国、ベトナム、台湾などを、国内はほとんどの地域を旅した。夫婦経営であり二人共留守にすることは好ましくなかったため一人が多かった。

趣味は、シニアソフトボールで、ねんりんピックで宮崎まで行ったことは懐かしい思い出である。今は韓国映画がお気に入りだ。テレビはニュースを見ることが多く他にはスポーツもので相撲、野球、オリンピック等を好んで見る。また新聞等で脳トレに励んでいる。

健康面では十年前に前立腺ガンを手術したが無事に治り、以後年一回の健診で様子を診ている。他に脊柱管狭窄症を患ったが自ら考案したリハビリ用治具でほぼ完治してしまった。聴力にやや難があるが、視力、脚力とも問題なく、冬季以外家の近くを散歩、新聞は細かく目を通す等健康である。食事は好き嫌い無く、何でも美味しく頂いている。

ＧＳをやめてからは借地ながらも農業に精を出すようになり、桃、梨、柿等を栽培した。生まれつき農家の血を引いているためか抵抗なく入れた。しかし年齢には勝てず八十五歳できっぱりと止め、土地を返還した。

一昨年末に六十年連れ添った奥さんを突然亡くしたことでしばらくは落ち込んだが、持ち前の前向き力で乗り越えた。現在は娘一家との四人家族で、最近の予想しがたい世相を嘆きつつ、毎日の晩酌を楽しみにし穏やかに暮らしている。

文責：桐崎長一

とよおか100年前 ⑱

『豊丘村民話集』より

若宮に祀られた六十六部

代田　健

六十六部とは全国六十六カ所の霊場に経を納めるため巡礼した者のことで、六部とも言いました。

むかし一人の六部が村へやってきました。長い巡礼の旅に疲れて病気になったのか大変苦しそうでした。そして、とある家の門口に立ちましたが、そのまま倒れてしまいました。

その家では大変気の毒に思い、家の中に入れて寝かせてやり親切に看病してやりましたが、その甲斐なく、とうとう死んでしまいました。そこで形ばかりの葬式をして、自分の家の墓地の片隅に埋めてやりました。そして三周忌には自然石ながら石塔も建ててやり、自分の家の墓と同様に供養していました。

その後、この家はますます発展して財産も多くなり、立派な分家も出しました。しかし何代も経ち年月を重ねるうちに、いつしか六部のことは忘れられ、その墓も供養されずに無縁仏のようになって、石塔だけがむなしく立っていました。

一方、その家の主人となる子孫に若死にが続きました。不思議に思った親戚の人が、ちょうどそのころ東京から来ていた祈祷師におがんでもらいました。その祈祷師が言うことには「むかし、この家で世話になった六部が忘れられてしまい、このごろ誰にも供養してもらえないので、この家の大事な人々に祟っている。六部の墓を自宅へ祀り、供養するように。なお六部の墓は石塔の頭部が欠けているから、それを目印にして探すように」とのことでした。

これを聞いて、さっそくお墓へ行って調べてみると、たしかに頭部の欠けた自然石の石塔がありました。表面の文字は薄れてわかりませんが、これに違いないとさっそく自宅の庭に移して手厚く祀ることにしました。以前から屋敷神として祀ってあった「山の神」の横へ安置し、墓石の表面に若宮社と書いて石工に刻んでもらい、丁寧に祀ることになりました。その後、この家の当主の若死にもなくなりました。

（豊丘村民話集・第弐集（昭和五十三年）より）

文責：壬生雅穂

こちら資料館 ㉕

多勢子、岩波新書に登場

この一月、『幕末社会』という発行したての岩波新書が資料館に送られてきました（写真）。著者は明治大学教授の須田努氏。一昨年の秋、多勢子の調査に資料館に来た方です。

本の帯には、＝動き出す『衆』主張する『若者』個性的な『女性』〈夜明け〉を知らずとも、人びとは懸命に生きた＝とあり、この本が幕末期の一般庶民の動きに焦点を当てて書かれたものであることが分かります。そして、この時代を象徴する女性の一人として、松尾多勢子が取り上げられているのです。

著者はまず島崎藤村の『夜明け前』の一節を引いて、五十歳過ぎの女性であるにもかかわらず尊王攘夷運動に身を投じた多勢子の存在を紹介しています。続いて、なぜ伊那谷に国学が浸透したのか、なぜ多勢子が京にまで上って行ったのかを、伊那谷の地理的特性と当時の混沌とした社会状況から分析しようとしています。

多勢子に関する記述はそう多くはありませんが、尊王攘夷運動を担うのは武士で男、それも若者であるというバイアス（先入観・傾向）をいとも簡単に跳び越えてしまった個性的な存在として多勢子が位置づけられています。興味のある方は是非ご一読ください。

今まで多勢子関係の本は、地方での出版物や専門書の類が多かったわけですが、今回この本が出たことで、多勢子の名が全国に尚一層広く知られていくことを大いに期待しています。

（資料館主任　唐澤武彦）

図書館だより

4月号

＜移動図書のご案内＞

五月の移動図書

六日（金）壬生沢福島集落拠点施設

十日（火）伴野勤労者福祉センター

十二日（木）小園研修センター

時間　午後八時～九時

＜本の紹介＞

『お家で楽しむ　アフタヌーンティー』

Ｃｈａ Ｔｅａ　紅茶教室（著）

坂井　みさき（著）

河出書房新社

英国のアフタヌーンティーにまつわる写真が華やかな一冊です。この本を読んでおしゃれにお家でお茶してみませんか。リンゴでバラの花の形を作る、アップルローズの作り方も載っています。

『山女日記』

湊　かなえ（著）

幻冬舎

山に登りながら悩みを乗り越えようとする女性達を描いた短編集です。登山をしない方でも、登場人物達の心境は、理解できるところがあるのではないでしょうか。著者自身も山に登るそうで、描写がリアルに感じられます。続編『残照の頂』も、ぜひ読んでみてください。

（図書館　宮澤奈津美）

村の小中学校教職員異動

学校に新たな息吹

転出・退職

◆南小学校

片桐　達司　喬木中へ
築島　由美　丸山小へ
荒木　優哉　西箕輪小へ
壬生　克浩　鼎小へ
中村るみ子　豊丘中へ
毛涯　計人　大鹿小へ
稲葉　茂子　豊丘中へ
ジュリア押田　退職

◆北小学校

細田　圭司　浜井場小へ
元島　澄子　高森南小へ
柳澤　翼　軽井沢中部小へ
南林美惠子　松川中央小へ
竹村　祐子　山本小より
田中　優希　新規
小石峯弥咲　新規

◆中学校

濱島　保　阿南第一中へ
深町さや香　東御市立東部中へ
古田　翔子　栄村立栄中へ
原田　春海　松川中へ
小島　悠　長野市立三陽中へ
羽生　純玲　中川中へ
庄田　秀俊　旭ヶ丘中へ

◆北小学校

宇佐美雅樹　大鹿小より
村澤やよい　竜丘小より
奈良井美保　鼎中より

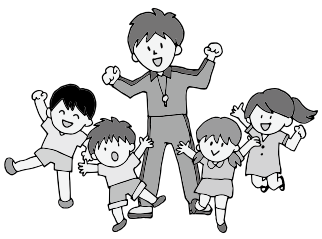
◆中学校

是則　二郎　旭ヶ丘中より
中村　翔　東御市立東部中より
小田　彩佳　新規
中村るみ子　豊丘南小より
三澤　達矢　鼎中より
奥田　泰典　初任研指導
（本務校：高陵中）

転入

◆南小学校

大峡　広和　下條小より
木下真由美　浜井場小より
尾花奈那子　高森北小より
岩瀬　惠　山本小より
元島　澄子　初任研指導
（本務校：高森南小）



俳句　短歌

雛壇に新たに一体今朝の晴　磯部セツ子
梅の香に仄かに鳥の声楽し　片桐　洋子
春暁や星の名ひとつ覚えけり　森田　恵子
来し方を話す二人の春炬燵　木下　眞水
四足の跡雪解を促しぬ　松岡　照子
祖母の世のお多福顔の雛飾り　宮下　純子
封切りの玉露を淹れし雛の顔　林　恵美子
天竜の突堤上ぐる名草の芽　丸山　時子
遥か日の影絵のうごき春障子　矢島千勢子
リニア新線工事進まず春一番　池田　美和
涅槃会や襲名なさず逝きし夫　細井　恵子
水ぼたる放つ子の顔わきあがる　吉川　明子
世の煽り老の暮しの春寒し　河手　洋子
天竜に副いて帰心の鴨下る　北原　昭子

〈とよおか短歌会〉

学校より借りし絵本は二三冊妹用も兄は忘れず　筒井　恵子
豆炭の袋の糸がもつれこみ解けて仰ぐ冬晴れの空　福澤貴美恵
卒寿過ぐ先輩の人生しみじみと我が来し方を重ねつつ聞く　壬生　千春
ねこ背負いた若きルミさん振りむけば猫かかえおりこれから出勤　松尾ヒサコ
寒中にうつむいて咲くスノードロップ一度は太陽見上げてごらん　大原眞由美
ものなべて外冷ゆる夜画用紙にグラビアヌード切り貼り置きて　福澤　郁文
獺祭忌糸瓜忌子規忌窓越しに庵を覗く病床六尺　福澤　亀人

＊獺祭忌・糸瓜忌・子規忌…いずれも正岡子規の忌日

川柳

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「晴」　久保ひろし　選

ウイルスの規制解けても晴れぬ日々　山本　義彦
メダル取る晴れた笑顔に拍手出る　安田　喜子
軸吟…九十坂晴れの日もあり日向ぼこ

▼課題「引」　互選

引き際は惜しまれて後がある　久保ひろし
男伊達引くに引かれぬ意地があり　福沢　勝美
人生は引き際大事と胸にとめ　林　もも子

▼自由吟　福沢勝美　選

核だけは踏みとどまれと被爆国　原　美風
三回目ワクチン終えて髪カット　市沢　照子
紛争の被害は罪のない子供　西元　峯子
軸吟…コロナ禍に耐えて花咲く春近し

コロナ感染症のゆくえがどうなっていくのか全く見通せませんが、今年度もオンラインを活用した講演会の開催など感染防止対策に知恵を絞って可能な限り事業を実施してまいりたいと考えています。令和四年度の公民館・社会教育関係の主な事業を紹介します。

◆公民館学習会

ＳＤＧｓの視点も踏まえる中で、健康・福祉・人権・自然などをテーマとして五月から三月まで全十回にわたり講座を開催します。六月に予定していますバスハイク（受講生のみ参加可）では、今年御開帳となる元善光寺や山梨県の甲斐善光寺を巡る旅を計画しています。受講生を募集しておりますので四月末までに公民館までお申し込みください。

◆成人講座

「新しい時代の羅針盤ＳＤＧｓから学ぶ」をメインテーマに、四月から六月にかけて三回の連続講演会を開催します。昨年に続き全ての講演会をオンラインにより実施します。

◆子ども平和学習支援事業

夏休みに、主として小学生を対象に、郷土に残る教材をもとに平和について考える学習会を開催します。

◆人形劇豊丘公演

今年で二十九回目となる人形劇豊丘公演。飯田市のプロ劇団「ＤＡＬＡ」と川崎市の「ひとみ座」を予定しています。子どもたちに豊かな人形劇の文化をお届けします（八月七日開催予定）。

◆星空観測会

専門家の協力を得る中で、大型天体望遠鏡を使って星空を覗いてみましょう。いろいろな種類の望遠鏡も見られますよ。今年は夏に開催する予定です。

◆武田信玄狼煙上げ

毎年の恒例事業となった狼煙リレーを、今年は八月二十七日に開催します。

◆文化祭作品展

とよおかまつりの翌週十一月二十日から二十七日の開催を予定しています。公民館グループや個人、小中学校等の展示を実施します。

◆とよおか金馬寄席

一昨年「三遊亭金馬」を襲名された金馬師匠。三年越しでの襲名披露公演となる寄席を開催します（開催時期調整中）。

◆みそ作り講座

昨年度までは大豆の栽培から行いましたが、今年度はみそ作りの講座のみ二～三月頃に開催します。自分だけの手作りみそを作ってみませんか。

◆二十四時間ソフトボール大会

三十四回目となる大会は八月二十七日、二十八日に開催を予定しています。昨年はチーム募集、組み合わせまで完了し、大会当日を待つばかりの段階で中止となってしまいました。三年ぶりの開催が大いに期待されます。

◆豊丘村駅伝大会

三十五回目となる大会を例年通り十一月二十三日（勤労感謝の日）に予定しています。こちらも三年ぶりの開催が期待されます。

◆村民ゴルフ大会

二十五回目の記念大会となる村民ゴルフ大会を九月十三日に高森ＣＣで開催します。多くの賞品をご用意しますので奮ってご参加ください。

◆「コミュニティスクール・地域学校協働活動」の推進

児童生徒の生きる力と地域の教育力向上を目的として、引き続き「信州型コミュニティスクール」を開催し、学校支援ボランティアによる学校活動の支援と「地域学校協働活動」を推進します。

◆豊丘みらい塾

今年も中学三年生の希望者を対象として公設学習塾を開講します。英・数・理の三教科について、外部講師が七月から二月まで毎週指導します。

◆中学生のボランティア活動支援

長期休暇（夏休み・冬休み・春休み）の期間中に、中学生が自主的に村内の福祉施設や教育施設、イベント等においてボランティア活動を行うことを応援します。

～シリーズ～ No.219 豊丘の自然

ミソサザイ（ミソサザイ科）

「ちょんのすめ」「みそっちょ」聞いたこと、言ったことありませんか。鳥の名前です。

「窓ガラスにぶつかって飛べなくなっていたのを手に持って撮影しました。十分位、手で温めていたら元気になって飛んでいきました。」

こんなコメントを付けて石毛さんが送ってくれたミソサザイの写真を見て、七十年近く前の小学生だった自分を思い出しました。

冬になると庭先に積まれたまきの束のすき間に、こげ茶色の小さな鳥が入り込むのです。捕まえようとして何度、そのすき間を網で被ったことか。これから紹介する事柄など一つも知らなかった。ただ捕まえて飼ってみたかっただけ。

・北海道から屋久島まで全国に分布し、山地で繁殖する。
・尾を立てた独特の体形で、地上近くをすばやく動き回る。
・つがい形態は一夫多妻。オスは自分のナワバリ内にいくつかの巣の外側だけをつくり、同時、あるいは順をおって複数のメスとつがい関係を結ぶ。
・メスは巣の内側を完成させ、産卵、抱卵、育雛を単独で行う。

（山田　拓）

心うきうき入園式

コロナ禍で迎えた三回目の入学式・入園式。南北小学校が四月六日の午前に、中学校が同じく六日の午後に、保育園では各園とも二日の午前に挙行されました。

今年も在校生（代表者を除く）が出席することはありませんでしたが、保護者は二名まで出席することができました。各校・各園の今年度の新入生は次のとおりです。

豊丘中学校	六十三名（副学籍を含む）
豊丘南小学校	三十五名
豊丘北小学校	二十三名
豊丘中央保育園	二十一名
豊丘南保育園	十一名
豊丘北保育園	十八名

（各保育園の人数は年少の人数を記載しています）

コロナ禍における学校や保育園の運営では、従来当たり前にできていたことができなくなったり、各種の行事を実施するにしても、内容・時間が省略・短縮されるなど様々な変化が生じています。このことは、一方では、従来からの固定的な考えからの脱却、新しい考え方・あり方への転換をもたらすものとなっている面もあるように感じます。

いずれにしましても、子どもたちにとってより良い環境とは何かを常に模索し、整えていくことが望まれます。

（公民館主事　松村幸紀）

北保育園

中央保育園

南保育園

コンデジ修行 その13

最近の流行はコンパクトデジタル 使いこなして写真力アップ！

母と子を撮る

カメラの主な使い道は旅行や身の回りの花や景色、そして家族の写真があげられますね。今号では家族、主にお父さんたちが母子にカメラを向けた時の撮影方法を簡単に話してみます。

●モデルが身内とはいっても最初は緊張するものですから、三メートルあたりから撮りはじめます。コンパクトカメラの解像力は遠くても五メートルまでが限界ですから、これ以上に離れての撮影は人物においては避けたほうが良いでしょう。カメラアングルも子どもの顔が見える位置の少し下から狙うことで、表情がイキイキしてきます。遊んでいる情景を上から撮ることで何して遊んでいるのかが見えてきます。カメラ慣れした頃少しずつ近づき一メートル辺りまで寄り、しかも広角側で迫るのです。遊び途中の視線はカメラに向くときがチャンス。またいかに周辺を質素シンプルにするかがポイントです。

f1.8　1/800　ISO400　24ミリ広角

f1.8　1/1000　ISO400　24ミリ広角

室内でも光を効率よく使うことで、立体表現が可能となり背面情景なども僅かに絞り込むとどこに居るか明確になります。室内でもどこかには光が差し込んでいるものです。この光を頭部に当てて輪郭を強調しました、これは前号の石仏と同じ要領で、他と比べても明らかに立体的に感じることでしょう。室内は電灯の照明が唯一の光で部屋に差し込む反射光だけで撮ることになりますから、なるべく窓際の明るい場所を選ぶことも大切です。左写真は室内でもグッと近くに寄り笑顔を待ちました。微笑む瞬間は難しいものでシャッターチャンスは連写にて良いものを選んでいます。

f3.2　1/1000　ISO400　35ミリ準広角

f1.8　1/1000　24ミリ

外に飛び出しましょう

室内撮影は光を自由に扱えますが外での撮影は光源が一つしかありません。常に太陽の位置を確認することが大切です。そして背景も重要な要素となってきます。なるべく簡素な背景を選びアップで撮るのか全身を入れるのか、プリントして飾ったりするかで変わってきます。人物だけを大きめに撮ることで表情や瞳が輝いている様子を狙うことです。右写真は曇り空でしたので髪の毛には光が弱い分暗い背景の中に顔がはっきり見ることができますね。室内ではISO感度を４００にしましたが、外ではなるべくざらつき（ノイズ）を軽減するためISO160にしています。中望遠で柔かくまとめるのか、広角でグッと寄ってアクティブにするのかは、その時の気分次第で良いでしょう。撮影時では背景に様々な人工物が入るため、少しでも無駄な物が入らないように背景の引き算をしましょう。そして、頭や顔に掛かる電柱や濃い線などには極力注意が必要で、家族を串刺しにしないことが愛だと思います。

f3.5　1/1250　ISO160　-0.7　70ミリ

基本となるカメラ設定は感度を室内では数字を上げて手ぶれを防ぐ。Ｆ値は数字を小さく背景をボカす。そして子どもや女性などの人物ではコントラストを一段下げています。

f2.8　1/2000　ISO125　24ミリ準広角

協力：豊丘村子育て支援センター

（監修：宮下正弘）